

104年目

ワクワクドキドキする御船高校へ

ごあいさつ

本校は、大正10年(1921年)に旧制御船中学校として創立され、建学の精神である「誠実以(もっ)て人に接す」「自ら進んで学を修(おさ)む」「自律以(もっ)て己を処す」の三綱領を教育理念として掲げて歩んできた、104年目を迎えた歴史ある伝統校です。卒業生は2万4千人を超え、県内はもとより、全国各地、海外においても優れた才能を発揮し、多方面にわたって活躍しています。普通科、普通科芸術コース(音楽・美術・デザイン・書道)、そして電子機械科という他校にない学科構成を有しており、新時代を担う人材を養成するのに相応しい多彩な学びを展開している学校です。

私は、予測困難な時代と言われる中で、御船高校は未来を明るくする力を十分持っていると考えています。それは、本校の卒業生たちが築き上げた歴史と伝統もさることながら、それらを脈々と受け継いできた生徒たちがいるからです。普通科の生徒たちは、各教科の学習と探究学習で総合的な力をつけ、電子機械科の生徒たちは、ものづくり日本を支える若き匠になるべく日々研究を重ね、芸術コースの生徒たちは、創作・表現活動に情熱を注いで校内外に心の豊かさを生み出しています。それだけでなく、学科を超えて船高生が生徒会活動、学校行事、部活動、探究活動、地域貢献活動などに一丸となって取り組むことで、学校及び地域を明るくしています。

- 挑戦する心とどんな時も前を向く力
- 人を思いやる心と感謝の心
- 未来を切り拓く志と世界を意識する心

私は、船高生がもともと備えている可能性をさらに伸ばすために、この3つの資質能力を育成していきたいと考えております。

これらを育成しながら、本校はますます“**ワクワクドキドキする御船高校**”へと変化していきます。さあ皆さん、御船高校という大きな船に乗って、私たちと一緒に輝く未来へと出航しましょう。新しい乗組員を在校生・職員一同、心からお待ちしています。



第30代 校長
橋本 岳範

三綱領

一、誠実以て人に接す

一、自ら進んで学を修む

一、自律以て己を処す